

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスuni			
○保護者評価実施期間	令和7年1月15日 ～ 令和7年1月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	15
○従業員評価実施期間	令和7年1月20日 ～ 令和7年1月24日			
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族支援に力を入れており、家族の困りごと等に対して丁寧に取り組んでいる。	・ 送迎時や連絡帳等で、家族が知りたい情報や支援の連携の伝達を行っている。	・ 研修や保護者会を通して、家族同士の分かち合いや将来への不安を軽減出来るような取り組みを定期的の実施していく。
2	安心して通所できる環境を作っている。	・ 健康面（排泄、飲水、運動等）の支援を基本としている。 ・ 子ども達の変化等を丁寧に家族や学校に伝達をし、安心して日々を送れるように支援している。	・ 子ども達が健康維持に対する自覚を持って、主体的に取り組めるように支援していく。
3	社会生活への支援として、課外活動を週に1回程度（土・祝）取り入れ、療育活動を行っている。	・ 社会的なマナーや交通ルールを意識しながら行動出来るように支援している。	・ 子ども達それぞれの希望を取り入れながら、課外活動の内容を検討していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流等、地域の他の子どもと関わるかつどうをする事が少ない。	・ 事業所以外の子どもと関わる事が困難な子どもが多い。 ・ 児童ルームの利用を断られている。（放デイは使用不可と言われている）	・ 公園での遊具遊び等を通して、事業所以外の児童と共に過ごす空間を提供していく。
2	きょうだい児の交流支援をしていない。	・ きょうだい児の交流支援に対する専門的知識が不足している。	・ きょうだい児交流に関しての学びを職員全体で深めていく。
3	職員によって児童福祉事業の経験年数にばらつきがあり、支援技術に影響が出ている。	・ 有資格者優先で採用しており、指定基準には影響はないが、障害福祉の経験には足りない部分がある。	・ 専門書を事業所で準備し、各自で勉強できるようにしている。 ・ 日々のOJTを重ねながら支援技術を獲得出来るように体制を整えている。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスuni

公表日 令和7年2月21日

利用児童数 15

回収数 15

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	2				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	1		・自分にとって、この空間は何をする場所と分かっているようです。 ・バリアフリー化については把握できておりません。 ・クールダウンスペース ・バリアフリーとはいえない(玄関)	今後も傾斜をつけたり、歩行が不安定な子どもに対しては支援員が付き添って出入りを行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1			・トイレ環境が問題有	今後も誰がトイレを使用しているかを把握したり、出入り口に支援員が立ち安全確認を行っています。また、混雑しないように前もって声掛けを行っています。
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				・個別支援が充実しており、専門支援を毎週入れて頂いております。	引き続き、細やかな支援が出来るよう対応していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	15				・面談での話が計画案に反映されており、細やかな個別支援を頂いております。	引き続き丁寧な対応・体制を取りながら支援を行っています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	2			・色々な経験をさせてもらっていると思います。	引き続き、プログラムが固定化されないよう確認しながら組み立てていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	5	4	2	・地域の小学校に通うお子さん達とデイの中で交流できていると思います。 ・有無を把握できておりません。 ・子ども(我が子)の特性上、難しいと思います。 ・地域小などの他校のお子さんとの時間が嬉しく思います。 ・たくさんの人との交流や活動もあると嬉しいです。 ・公園によく連れていってくれている。	利用児に無理がない範囲で交流出来るように調整していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15				・丁寧にご説明いただいております。 ・計画書を見ながら1つ1つ説明してもらいました。	引き続き丁寧な対応・体制を取りながら支援を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2	1	1	・今年度は研修がなかったですね。	今後も、計画に取り入れていきたいと思っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14	1			・都度問題が生じた時に速やかにアドバイス頂き、学校や他デイとも共有出来ています。 ・学校担任よりも早く変化やきざしに気付いて下さっていると感じます。	引き続き素早い対応・体制を取りながら行っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1			・相談した際に丁寧にご支援頂けています。 ・半年ごとに面談して助言してもらっています。	引き続き定期的に面談等を行い、連携を図れるように努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	2				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	5	3	1	・きょうだい児支援や交流に関しては把握できておりません。	保護者の希望などを踏まえながら今後検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15				・いつも迅速に対応していただいております。困ったときは相談できるという安心感があります。	引き続き素早い対応・体制を取りながら、相談しやすい環境づくりに努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1				

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	2		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15				・問題を感じておりません。	引き続き個人情報保護に努めてまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13			2	・訓練の実施に関しては把握できておりませんが、感染マニュアル等、ご説明頂いております。	訓練実施予定など、おたよりに記載したり、実施した時は連絡帳に書くなどして伝達していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1		1	・避難訓練の実施など行われており、もし発生したらと考えると、我が子にとって、見通しがもてていることはありがたいと思います。	引き続き、活動を通して定期的に避難経路の確認を行っていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1		2		安全計画の周知に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1	1		・いつも迅速なご対応を頂いております。	事故が発生した場合は当事者の方への迅速な連絡を実施しております。今後も事故のないよう安全面に注意し、迅速な対応に努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15					
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1			・今必要な事を一緒に考えて下さり取り組んでいただき感謝しています。 ・通所する事に対し、親が安心して送り出しています。感謝しています。 ・いつも丁寧に対応していただき感謝です。	引き続き利用者様や保護者様の為に、誠実に支援に取り組んでまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービスuni		令和7年2月21日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		パーティションで仕切っておりスペースを変えられる。	空間を有効活用して過ごしやすい環境づくりに努めていく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		活動や子どもの特性に合わせた配置を計画し、変更等にも臨機応変に対応している。	充実した支援が行えるようにしていく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		スクリーンを使って個々に合わせた環境設定を行っている。	出入口に段差がある為、職員が付いて出入りを行う等の対応をしていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃に加え、使用物の消毒・安全確認を行っている。	個々に合わせた空間作りに努める。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じてパーティションを移動させ、個室を作る等の環境調整を行っている。	安心安全な環境作りに努める。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		会議等に参加し、話し合う事が出来ている。	会議等で意見を出し合い業務改善に繋げていく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		常に保護者や子どものタイミングを見て話し合いを行っている。	アンケート結果をもとにスタッフ全員で話し合いを行い、業務改善に繋げていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日振り返りを行ったり、定期的に支援会議を行って意見を出し合っている。	会議等で意見を出し合い業務改善に繋げていく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		コンサルタントによる定期的な業務指導を受けている。	第三者委員会の設置を今後検討していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職場内での研修を定期的に行う事で、それぞれ確認も出来ている。	資質向上を目指す研修を実施していく。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページでの公表及び活動内容を毎月のお便りでお知らせしている。	ホームページをブラッシュアップしながら良い支援・必要な支援に繋がるものになるように実践していく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的にモニタリングを行ったあと、スタッフ全体で話し合い、ニーズの把握をしながら計画書作成を行っている。	アセスメントをもとに、個々に合った支援が出来るように意見を出し合い計画をたてていく。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		会議に全スタッフが参加できるよう調整している。職員が休みの場合は、事前に意見を提出している。	個々に合った支援内容をスタッフ全員で意見を出し合いながら行っていく。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿った一日の計画書を作成したり、事前に話し合いを行う事で、留意点等の共通理解する事が出来ている。	必要に応じて適切に行っていく。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたツールを用いて新しくアセスメントシートを作成し、子どもの状況把握に努めている。	個人別で表記し、変化が分かるようにしていく。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		原案会議や支援会議を定期的に行う事で、具体的な支援内容を検討・設定し、確認まで行う事が出来ている。	利用者様の状況を踏まえ、5領域に関する具体的な支援内容を設定していく
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		スタッフ全体で定期的に話し合っている。	日々のミーティングやその都度意見を出し合い協議していく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		集団活動で、5領域に当てはまるようなプログラムを作成している。	利用者様の状態に応じたプログラム立案に努める。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもに合った支援物を使用し、集団・個別に分かれて活動をしている。	個々のニーズにこたえられるように、支援物作成などを行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		活動時のみではなく、送迎や人員配置も含め事前に打ち合わせをしている。	必要に応じて適切に行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		振り返りを行い、気になった事や改善などの話し合いを行っている。	その日の振り返りは行っているが、振り返り方や記録の方向に工夫が必要だと感じる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		その日のうちに記録を書いて、正しい情報の記入を行っている。	支援の改善が少し足りないのではないかと感じる為、振り返り方に工夫を行う事が必要だと思う。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		可能な限り複数名でモニタリングを実施している。	必要に応じて行い、すぐに対応できるように努める。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		スタッフ全員で話し合いながら作成している。	ガイドラインを周知し、適切な支援が提供できるように努める。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		言語表出が難しい場合は、二択からの選択等、本人が選択しやすいよう支援を行っている。	必要に応じて適切に行っていく。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達管理責任者や支援リーダー等適任者を選んで出席している。	必要に応じて適切に行っていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		BCPを作成し、医療に関しては協力医療機関等の記載をし、把握している。	必要に応じて適切に行っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者を通して情報を得たり、学校との情報連携会議に参加し、情報共有を行っている。	送迎時や必要に応じてすぐにたいおうできるよう努める。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		担当者会議にて関係機関と情報共有を行っている。	必要に応じて適切に行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行支援会議に出席するなど情報共有を行っている。	必要に応じて行い、すぐに対応できるように努める。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		こども発達支援センターなどで発達検査や知能検査等を受けた場合、その報告書を保護者同意のもと共有している。	保護者同意のもと、報告書の情報共有を行う。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		児童ルームを使おうとしたときに断られた事もあり、交流の難しさを感じる。	障害者手帳のない児童の受け入れもっており、必要に応じて行っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会の議事資料を回覧している。	可能な限り参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡帳を通して行っている。	話しやすい環境を構築するように努める。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		定期的な面談や保護者会にて必要な情報提供を行っている。	今後は研修も定期的に実施していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や受給者証更新時や変更があった場合説明をしている。	契約時や受給者証更新時等必要に応じて説明を行っていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		利用者様と保護者の意向を計画書に記載し、ニーズを踏まえた計画書を作成し、モニタリング等で確認している。	モニタリング等を定期的に行い、必要に応じて対応できるよう努める。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画書公布の際、計画内容を説明し同意を得ている。	定期的に面談などを行い、その際に説明を行い同意がもらえるように努める。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時の保護者からの様子を元に電話する等、その場に応じた対応を行えていると思う。	必要に応じて適切に行っていく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会を開催し、保護者同士の交流する機会を設けている。	保護者やきょうだい児から要望などを伺いながら、きょうだい児の交流についても検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れがあった場合、電話や面談等で迅速かつ適切に対応するように努めている。	迅速かつ適切な対応に努めていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的におたよりを発行しており、ホームページも作成している。	お便りやホームページとに行事予定などを掲載し発行していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載された書類等は鍵付きのキャビネットにて保管している。	保管に十分注意しながら、掲示物や配布物に個人情報が含まれない様に配慮していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		日常生活において、本人の意思を絵カードやジェスチャーを利用して行っている。	利用者様や保護者との意思疎通をスムーズに行えるよう、スタッフ同士で情報共有していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域住民を招待する事はないが、地域を活動で歩く際は、地域の方と会った際は挨拶をしている。	必要に応じて適切に行っていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事故、災害、感染症などのマニュアルを作成し、会議などで対応方法等の確認を行い、研修・訓練を計画している。	必要に応じて適切に行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPに沿った研修等を実施し、スタッフによる避難手順や経路確認などを行っている。	利用者様が見通しを持って非常時に対応できるよう、活動内に避難経路確認などを組み込んでいく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に保護者から聞き取りを行い、必要に応じて服薬依頼書に記入していただきスタッフ全員で共有している。	緊急時等に適切に対応できるように、定期的に利用者様の服薬や病歴等についての情報共有を行っていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者に聞き、対応している。	現時点では対象児はいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		支援室等、利用者様が安全に過ごせるように日々点検を行い、必要に応じて研修や訓練を行っている。	引き続き安全に気をつけながら支援をしていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		感染症流行など学校から保護者に連絡があった際、保護者と連携を取り、適切な対応を行っている。	保護者との連携を行い、適切な対応が取れるようにしていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書を作成しており、日ハットがあった場合は会議にてスタッフ皆で検討している。	会議やミーティング等で行っていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		委員会を設置し、会議や全体に向けての研修を行っている。また、適切な対応が取れるよう日々の支援のあり方等の共有を図っている。	職員全員が参加できる研修体制を整えている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束は行わない事を前提に支援していることを共有し、代替案を個別で作成しまとめている。	契約時に説明を行っており、今後も必要に応じて適切に行っていく。